

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2020年10月27日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。
本資料の正式言語は英語であり、その内容・会社については英語が優先します。

Caterpillar が 2020 年第 3 四半期業績を発表

- 2020年第3四半期の売上高は23%減、1株当たり利益は54%減
- 底堅いバランスシート、全社現金残高は93億ドル

(単位：10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第3四半期	
	2020	2019
売上高	\$9.9	\$12.8
1株当たり利益	\$1.22	\$2.66

(イリノイ州ディアフィールド発) ——Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2020年第3四半期の業績を発表しました。売上高は99億ドルで、128億ドルだった前年同期に比べ23%減少しました。これは、製品・サービスに対するエンドユーザー需要が落ち込んだことが主因となっています。

1株当たり利益は、1.22ドル（前年同期：2.66ドル）でした。なお、この1株当たり利益には、年金債務の支払いを受けた再測定による7,700万ドル（1株当たり0.12ドル）相当の税引き前損失に加え、同四半期の税額が予想を下回ったことによる利益が含まれています。

営業利益率は、10.0%（前年同期：15.8%）でした。

全社営業キャッシュフローは、2020年9月末日までの9カ月間で43億ドルでした。今四半期末時点の全社現金残高は93億ドルで、同じく利用可能な流動性資産は140億ドル超となりました。

Caterpillar の Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼CEOは、次のように述べています。「世界中の社員が、引き続きパンデミックを安全に乗り切りつつ確固たる姿勢でお客さまへのサービスに真剣に取り組んでいることを誇らしく思っています。今四半期業績はおおむね自社

予想と一致しており、一定の業種や地域で上向きの兆しが見られることに勇気づけられています。また、当社では自社戦略*を実行しており、変化する市場の状況に迅速に対応する準備ができています。」

*ご参考：自社戦略

<https://www.caterpillar.com/en/company/strategy-purpose/strategy/>

以上

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。

また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。